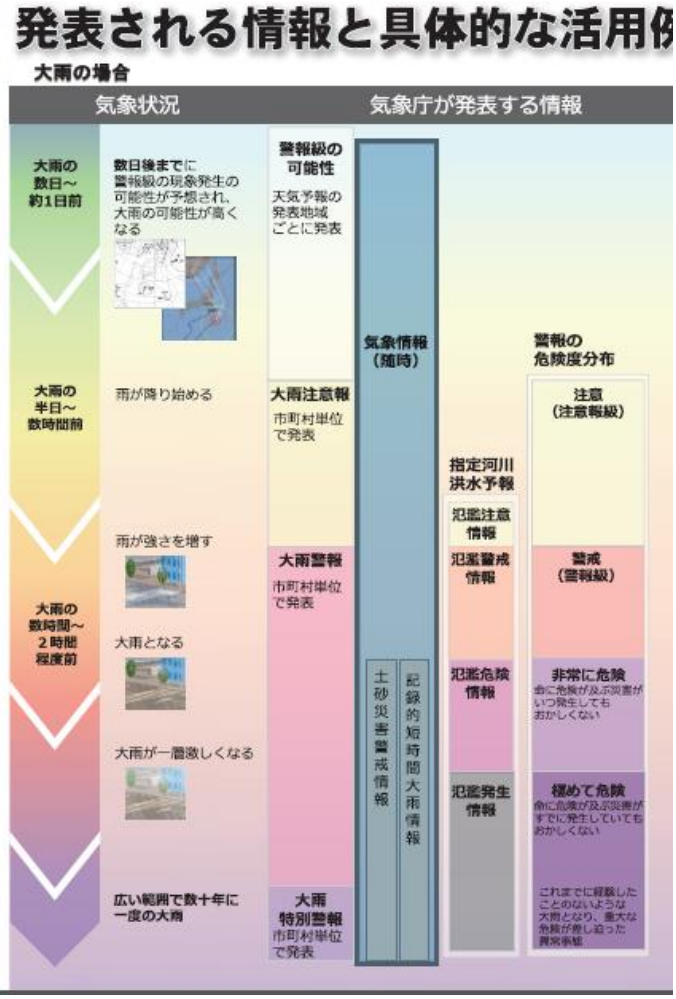
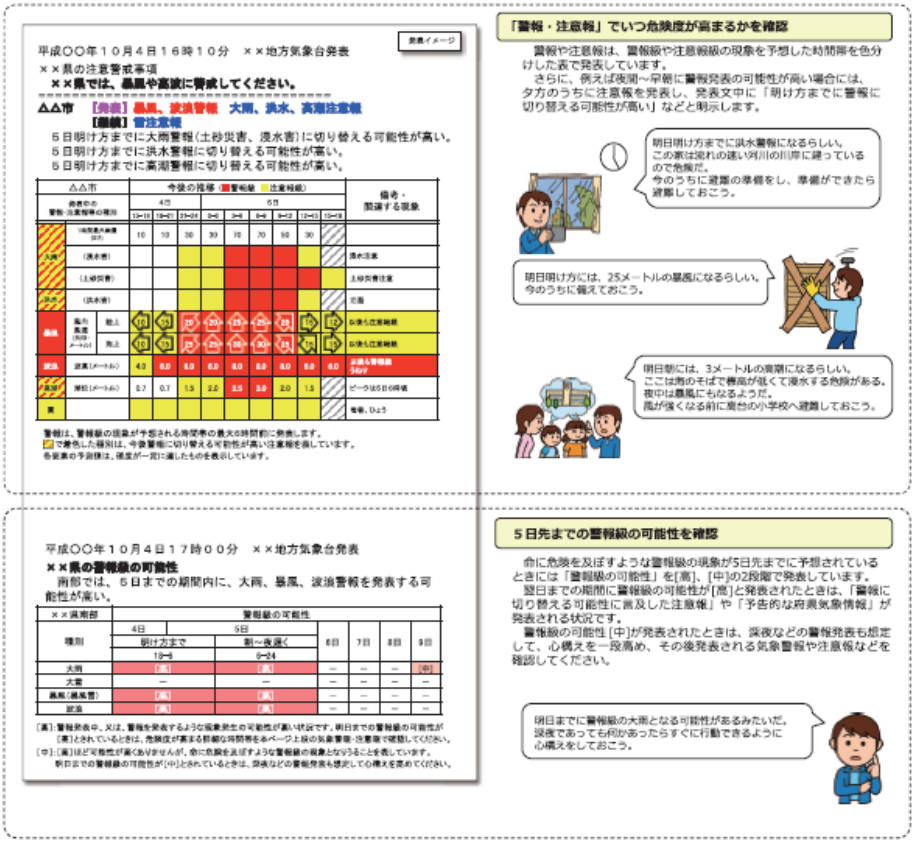
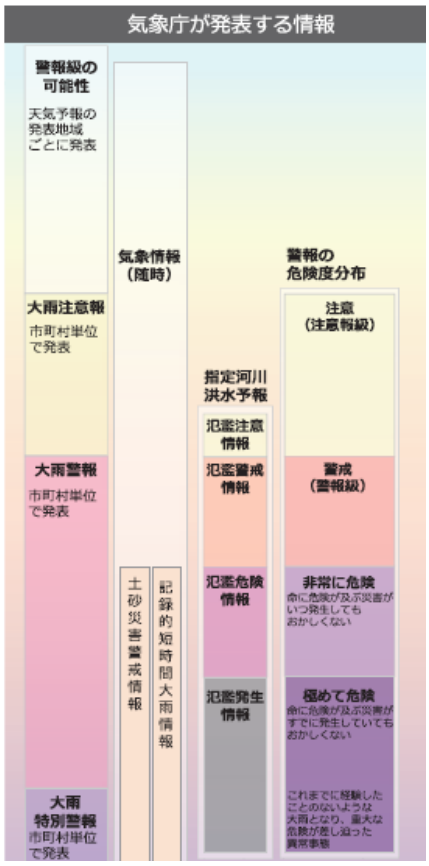


危険度の高まりが予測される時間帯を知るために





危険をあらかじめ知り、早めに避難するために

住民の行動

気象情報やハザードマップを確認
心構えを一段高める
危険な区域を把握
近隣の安全な場所や避難経路を確認

最新の情報をこまめに確認
夜間に「警報に切り替える可能性が高い」と記載されている場合、
土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、
避難準備が整い次第、避難を開始
高齢者等は速やかに避難

土砂災害警戒区域等や
急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、
避難準備が整い次第、避難を開始
高齢者等は速やかに避難

速やかに避難
危険な区域の外の少しでも安全な場所への速やかな避難。

避難を完了
屋外への避難がすでに困難となっているおそれがあるため、
この状況になる前に安全な場所への避難を完了しておく。

これより前の段階で、危険度分布で「極めて危険」
（濃い紫）が出現するまでに避難を完了しておく。

お住まいの地区の災害の危険性や避難先をハザードマップ等で確認

土砂災害や水害、高潮害について、立退き避難が必要な、命が脅かされる危険性が認められるのは以下のような場所です。

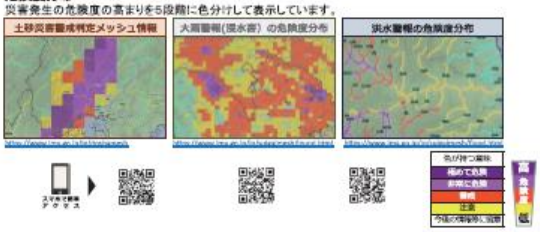
- 崖や渓流のそばなど、土砂崩れや土石流により家屋が埋まってしまう場所
- 川からあふれた水の流れにより家屋が流失してしまう場所（谷底平野など）
- 川の付近の平屋や地下室などのように、深く浸水してしまう場所
- ゼロメートル地帯のように、浸水が長期間継続してしまう場所
- 堤防を越えた波により家屋が流失してしまう場所
- 海岸沿いの平屋や地下室などのように、深く浸水してしまう場所

お住まいの地区にどのような危険があり、土砂災害や水害、高潮害などから命を守るためには
どのような避難行動をとる必要があるのかをしっかり認識しておくことが大切です。
まずは自治体のハザードマップなどで土砂災害警戒区域や浸水想定区域や避難先等をご確認ください。

危険度分布や避難情報等を確認

警報、注意報や気象情報で災害に対して注意警戒を呼びかけます。警報等が発表された市町村等のうち、実際に土砂災害や水害発生の危険度が高まっている場所は、危険度分布で色分けして表示します。土砂災害や水害で命が脅かされる危険性が認められる場所にお住まいの方は、危険度の高まりが予測される場合には早めの避難をお願いします。また、地元自治体が発令する避難情報に留意し、早めに避難行動をとってください。

危険度分布
災害発生の危険度の高まりを5段階に色分けして表示しています。



災害の発生する前に随時発表される情報を確認して、早めに行動し災害から身を守ってください。

屋外に出ると命に危険が及ぶ場合

避難しようとしたときに屋外に出ると、かえって命に危険が及びそうだという状況では、少しでも命が助かる可能性が高い行動として、家の中でも二階以上や崖の反対側などのより安全な場所に退避するなど、最善を尽くしてください。

気象庁から発表される情報のタイミングと、そのときにとるべき行動の例をまとめました。
特に、「突発性が高く予測が困難な土砂災害の危険性がある区域（土砂災害警戒区域等）や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いの区域にお住まいの方」は、いざという時に自発的に避難を開始できるよう、事前にご確認ください。

住民の行動

気象情報やハザードマップを確認
心構えを一段高める
危険な区域を把握
近隣の安全な場所や避難経路を確認

Point
備えは大丈夫？

最新の情報をこまめに確認
夜間に「警報に切り替える可能性が高い」と記載されている場合、
土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、
避難準備が整い次第、避難を開始
高齢者等は速やかに避難

Point
土砂災害警戒区域等に
お住まいの方は、早め早めの
行動を！

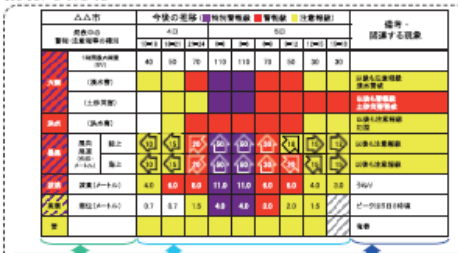
土砂災害警戒区域等や
急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、
避難準備が整い次第、避難を開始
高齢者等は速やかに避難

速やかに避難
危険な区域の外の少しでも安全な場所への速やかな避難。

避難を完了
屋外への避難がすでに困難となっているおそれがあるため、
この状況になる前に安全な場所への避難を完了しておく。

これより前の段階で、危険度分布で「極めて危険」
（濃い紫）が出現するまでに避難を完了しておく。

情報の説明



発表中の警報・注意報等の種別を表しています。右の凡例表に示した背景色により、警報や注意報などの発表状況が一目でわかります。

[各欄別についての凡例]
■：特別警報
■：警報
■：注意報
■：今後特別警報に切り替える可能性が高い警報
■：今後特別警報に切り替える可能性が高い注意報
■：今後警報に切り替える可能性が高い注意報

明日まで3時間毎の現象の推移を示す表です。背景色(■:特別警報級、■:警報級、■:注意報級)により、警報級の現象を予想しているなどの状況を一目で見ることができます。表中の数字は、量的な予想値です。また、表中の矢印は風向を示しています。例えば、暴風5日0～3時の状況 ■ は、南の風50メートルで特別警報級の現象を予想していることを表しています。

表で示した時間帯以降に警報級や注意報級の現象が続く可能性や、発表中の警報・注意報に関連する現象について示します。

平成○○年１０月４日１７時００分　××地方気象台発表

××県の警報級の可能性
南部では、５日までの期間内に、大雨、暴風、波浪警報を発表する可能性が高い。

××県南部	警報級の可能性					
	4日	5日				
種別	明け方まで	朝～夜遅く	6日	7日	8日	9日
	18-6	6-24				
大雨	[高]	[高]	－	－	－	[中]
大雪	－	－	－	－	－	－
暴風(暴風雪)	[高]	[高]	－	－	－	－
波浪	[高]	[高]	－	－	－	－

明日までは時間帯を区切って、明後日以降は1日単位で、大雨・大雪※・暴風(暴風雪※)・波浪について、警報を発表するような現象発生の可能性を示します。　※降雪時のみ

[凡例]
[高]：警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況。
[中]：[高]ほど可能性が高くはないが、警報を発表するような現象発生の可能性がある状況。

気象庁
〒100-8122　東京都千代田区大手町1-3-4
TEL：03-3212-8341（代表）
FAX：03-6689-2917（耳の不自由な方向け）
https://www.jma.go.jp/

このリーフレットは印刷用の紙へリサイクルできます。　平成30年9月